



# 2024年6月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2024年2月9日

## 2024年6月期上期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

# 2024年6月期上期 業績サマリー

前年同期比では、1Qは前年同期の大型ハードウェア販売の影響により減収減益となったが、上期はシステム開発、クラウドサービス、セキュリティの主要3分野が伸長し、増収増益となった。受注は複数年契約の案件が増加し大幅増加。上期計画に対しては、売上利益ともにほぼ計画通りに進捗

単位：百万円

	23年6月期上期		24年6月期上期		増減	前期比	上期計画	
	金額	売上比	金額	売上比			金額	計画比
売上高	6,789	-	6,946	-	+157	+2.3%	7,000	△0.8%
売上総利益	2,120	31.2%	2,200	31.7%	+80	+3.8%	-	-
販売管理費	1,317	19.4%	1,348	19.4%	+31	+2.4%	-	-
営業利益	803	11.8%	852	12.3%	+49	+6.1%	850	+0.2%
経常利益	824	12.1%	859	12.4%	+35	+4.2%	870	△1.3%
当期純利益	558	8.2%	584	8.4%	+26	+4.7%	600	△2.7%
受注高	6,459	-	9,772	-	+3,313	+51.3%		
受注残高	9,233	-	13,800	-	+4,567	+49.5%		

# 2024年6月期上期 製品カテゴリ別売上高

「決済・金融」のシステム開発、クラウドサービス、セキュリティの主要3分野の売上高は伸長。他社製品は、前年同期にFEPシステム更改の大型ハードウェア販売があったため減少

単位：百万円

	23年6月期上期	24年6月期上期	増減	前期比
売上高	6,789	6,946	+157	+2.3%
決済・金融	5,393	5,007	△386	△7.2%
システム開発	2,840	3,457	+617	+21.7%
保守	816	798	△18	△2.2%
自社製品・サービス	218	173	△45	△20.6%
他社製品（ハードウェア等）	1,517	578	△939	△61.9%
クラウドサービス	881	1,180	+299	+33.9%
セキュリティ	514	757	+243	+47.3%

※：FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

# 2024年6月期上期 事業領域別売上高

決済分野の拡大領域である「決済システム等」は、クレジットカード会社向け大型案件により伸長。FEPは、前期にFEPシステム更改の大型ハードウェア販売があったため減少。クラウドサービスは、ユーザー数が増加し伸長。セキュリティは、既存製品の絞り込みと販売強化の製品範囲を拡げ増加

単位：百万円

	23年6月期上期	24年6月期上期	増減	前期比
売上高	6,789	6,946	+157	+2.3%
決済・金融	5,393	5,007	△386	△7.2%
FEP・不正検知	3,625	2,598	△1,027	△28.3%
決済システム等	1,377	2,005	+628	+45.6%
金融・その他	389	403	+13	+3.6%
クラウドサービス	881	1,180	+299	+33.9%
セキュリティ	514	757	+243	+47.3%

※：FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

# 2024年6月期上期 顧客別売上高

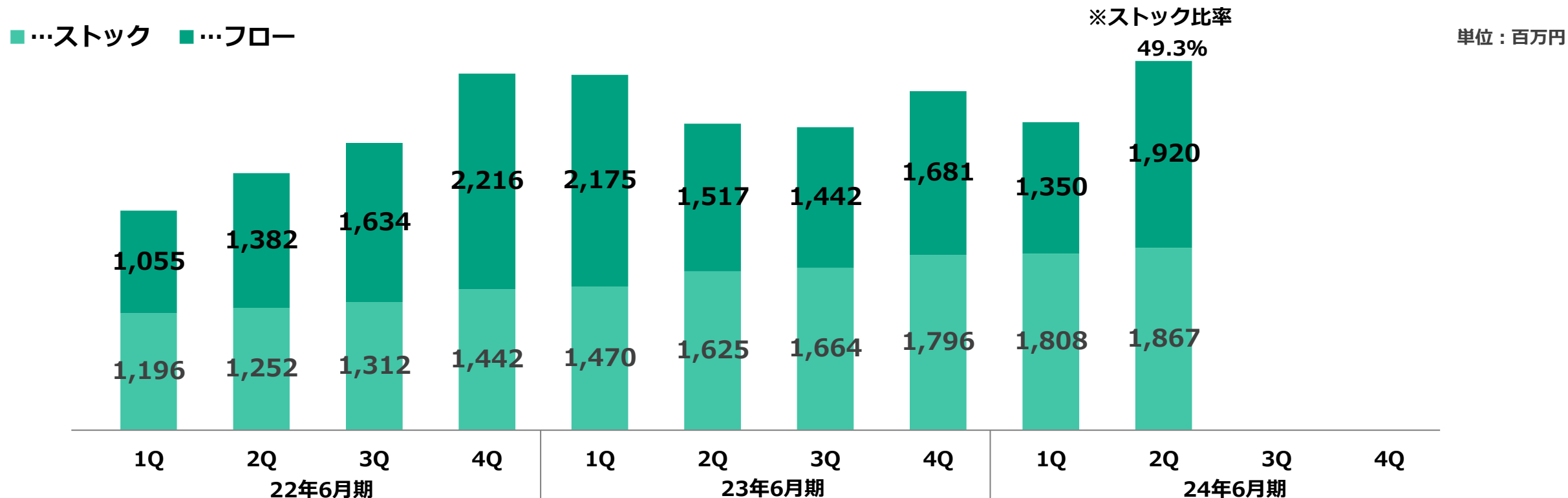
「DNP」は、既存案件が堅調に推移。「システム開発会社」は、クレジットカード会社向け大型案件により増加。「カード会社」は、FEP・不正検知、決済DX等の複数領域においてシステム開発規模拡大により増加

単位：百万円

	23年6月期上期	24年6月期上期	増減	主な案件
1. D N P	877	871	△6	TSP開発（スマートフォン決済） システム運用（24/365） 鍵管理システム
2. システム 開発会社	457	784	+326	クレジットカード会社向けシステム開発等
3. カード会社	280	504	+224	複数領域におけるシステム開発等（FEP・ 不正検知、決済DX）

# 2024年6月期上期 ストック/フロー売上高

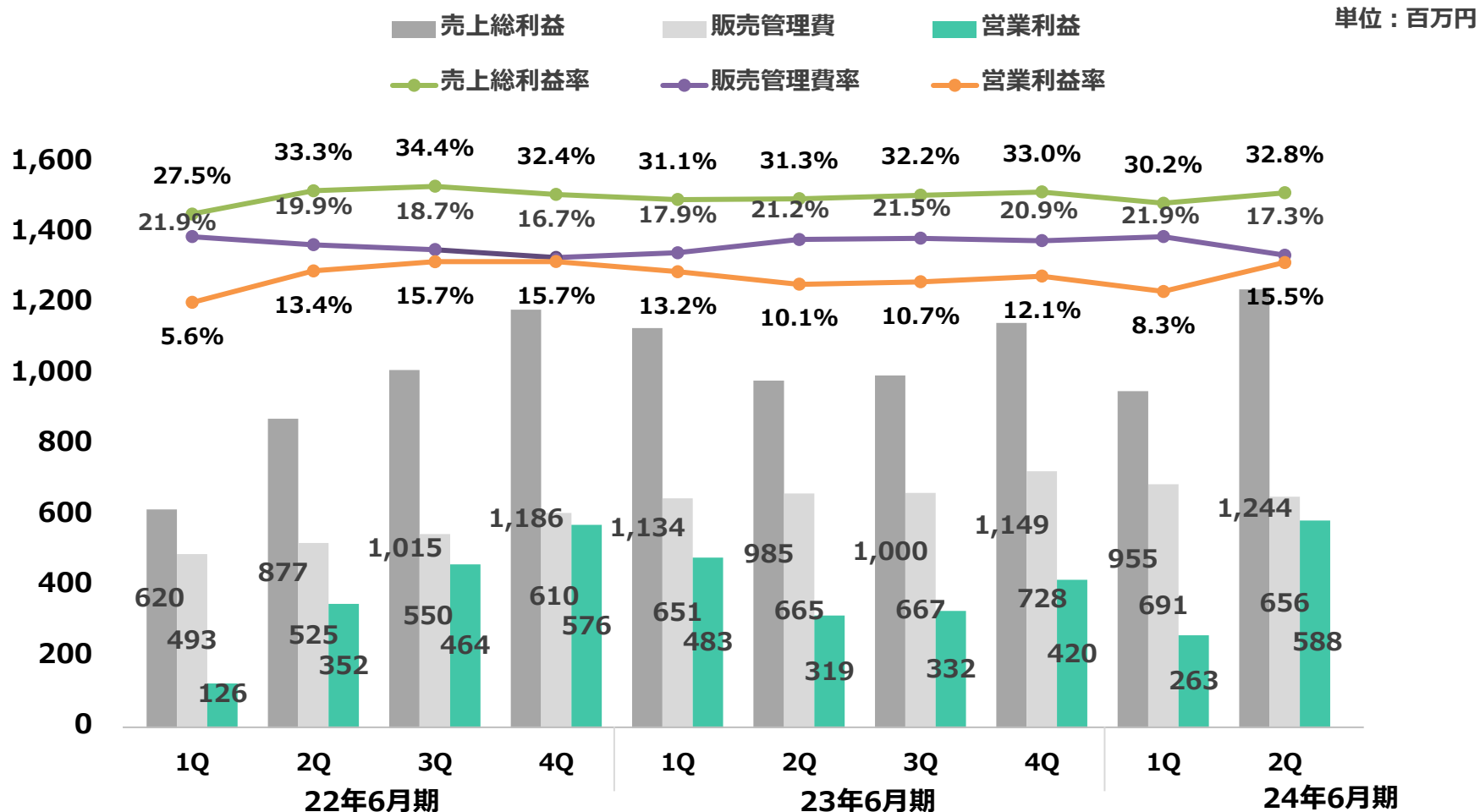
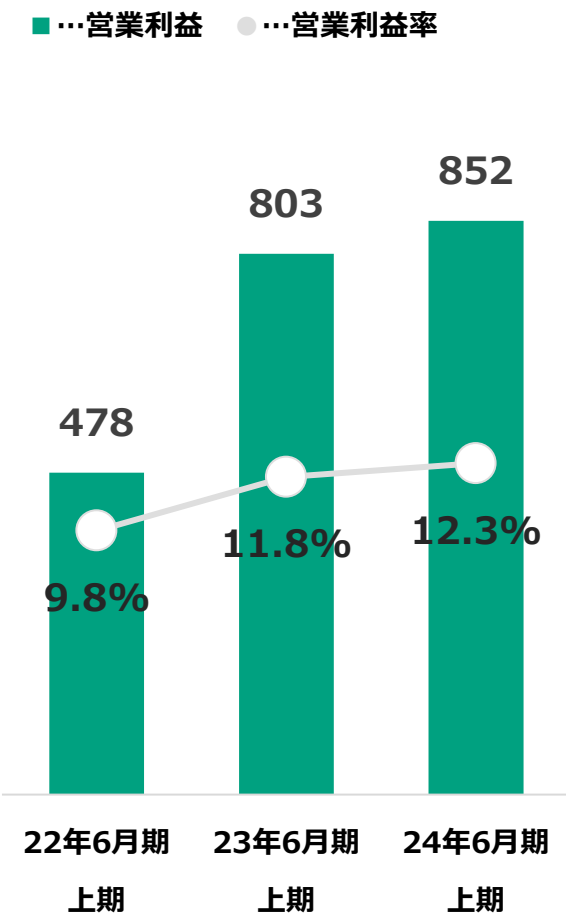
クラウドサービスの売上高増加により、ストック売上高は着実に増加。今後はシステム開発等のフロー売上高の拡大と合わせ、規模拡大を目指す



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件  
 (クラウドサービス事業に係るシステムの利用料やシステム運用の対価、または、自社製品や他社製品の保守業務等)  
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件  
 (受託開発業務の対価や、自社製品、他社製品の販売対価等)

# 2024年6月期上期 営業利益

売上総利益はシステム開発やクラウドサービスの売上増加に加え、大型案件等のシステム開発の利益率が好調に推移し増加。販売管理費は、前期下期から人的資本投資やオフィス環境整備等で増加しているが、コストの最適化を図り、通期計画に対しては計画通りに進捗





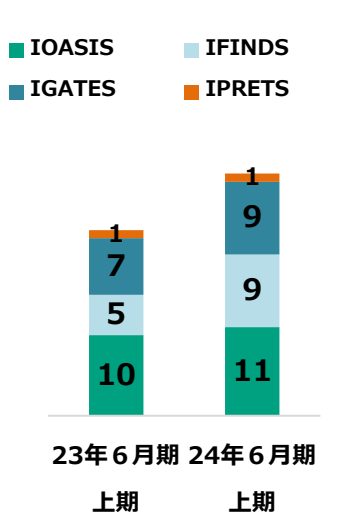
# 2024年6月期上期 クラウドサービス

前年同期比では、売上高は不正検知の「IFINDS」を中心にユーザー数が7社増加。  
利益は、サービス構成比率の変化や運用体制の安定化により増加

	2023年6月期				2024年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	507	822	2,794	297	614	969		
売上高	434	447	469	515	592	587		
受注残高	4,214	4,589	6,913	6,695	6,717	7,098		
売上総利益	△4	29	44	71	96	84		

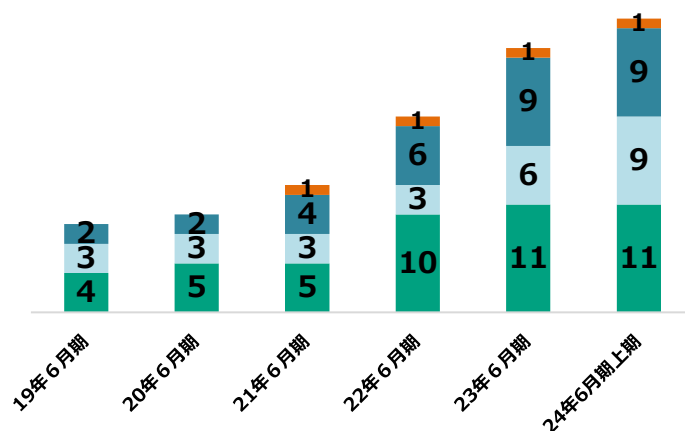
単位：百万円

## ■ 導入社数



## ■ 各サービスの概況

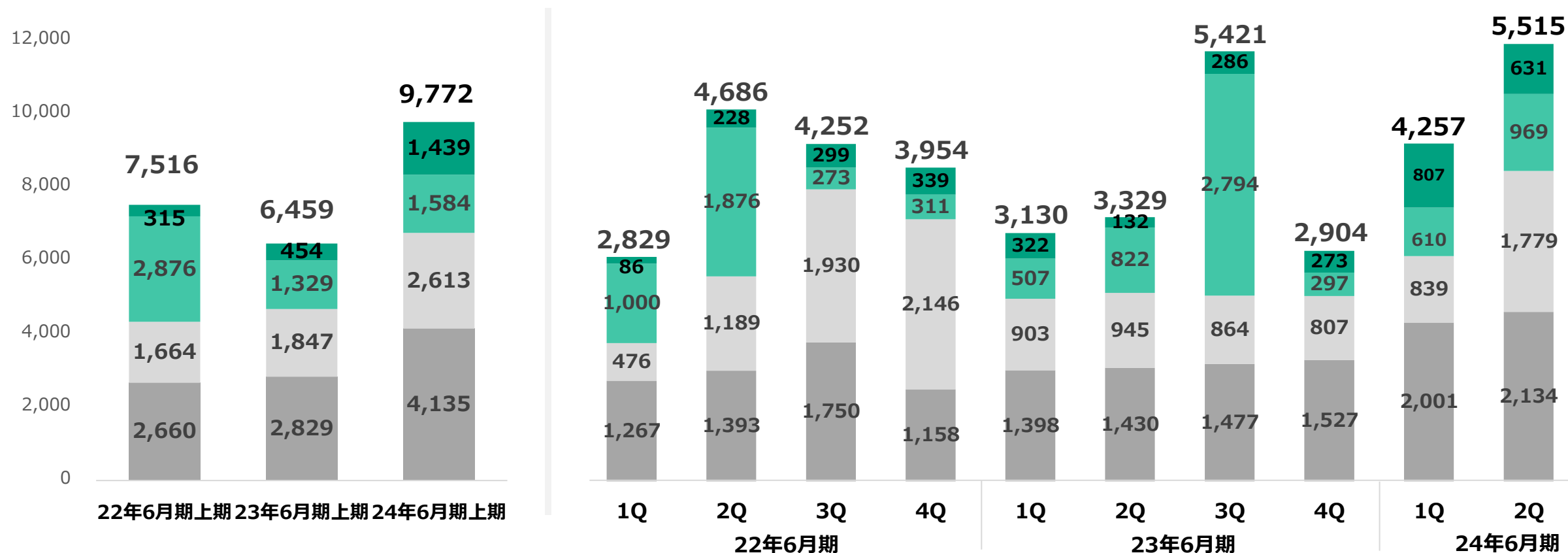
サービス名	概況
IOASIS	既存顧客の機能追加、取引量増加対応等が増加。新規では地銀を中心に引き合い増加（2行内定）
IFINDS	カード不正利用のAI分析データを共有する「FARIS共同スコアリングサービスPowered by PKSHA Security」の導入社数が増加。次世代不正対策プロジェクト「FARIS」において、順次新サービスを投入
IGATES	大規模の業界横断の共同利用型プラットフォーム開発を受注（2024年6月利用開始予定）



「決済・金融」は、クレジットカード会社向け大型案件や、インフラ保守・運用の大型案件、FEP更改等により増加。セキュリティは、既存注力領域と販売拡大領域の受注が増加

単位：百万円

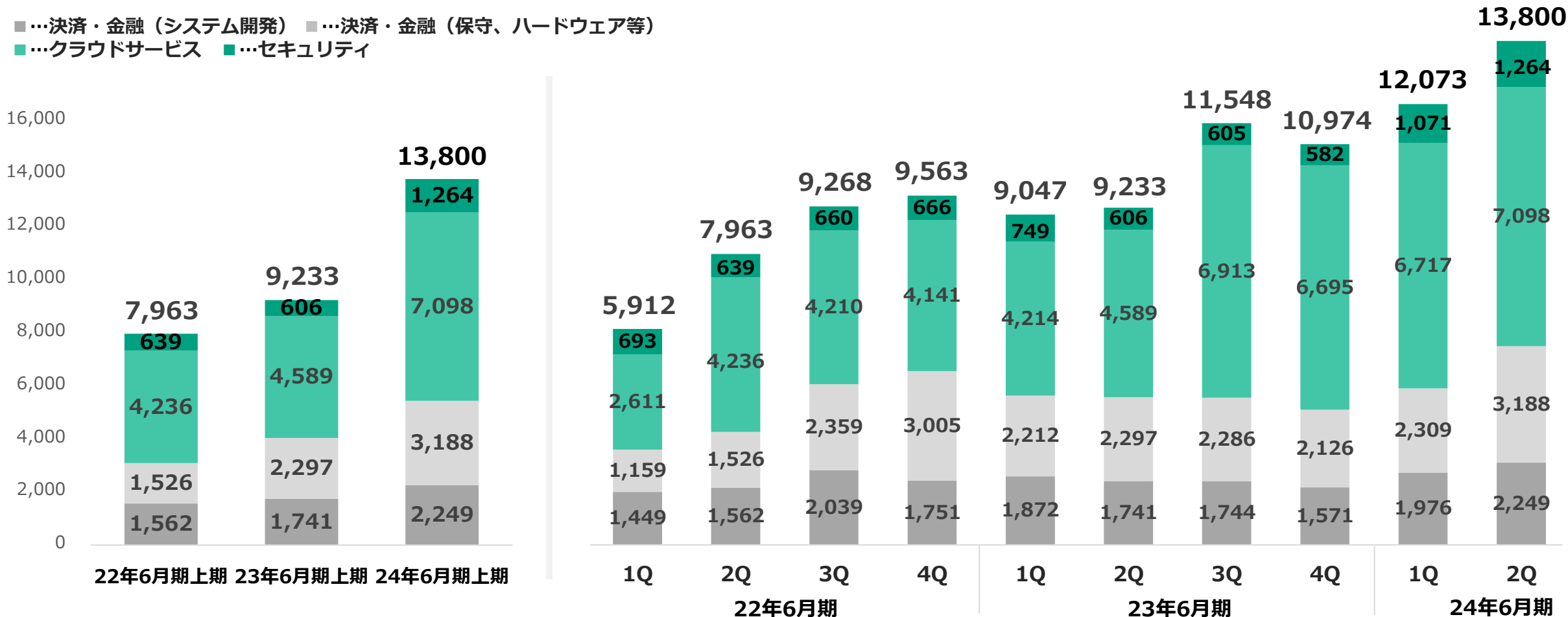
■ …決済・金融（システム開発） ■ …決済・金融（保守、ハードウェア等）  
 ■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ



## クレジットカード会社向け大型案件および、インフラ保守・運用の大型案件、クラウドサービス、セキュリティの複数年契約の案件が増加し大幅増加

単位：百万円

■ …決済・金融（システム開発） ■ …決済・金融（保守、ハードウェア等）  
■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ



2024年6月期上期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料

# 2024年6月期 業績予想

期初の業績予想から変更なし

単位：百万円

	23年6月期実績			24年6月期予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	6,789	6,585	13,374	7,000	8,000	15,000	+12.2%
決済・金融	5,393	5,015	10,408	5,160	5,840	11,000	+5.7%
クラウドサービス	881	985	1,867	1,190	1,310	2,500	+33.9%
セキュリティ	514	583	1,098	650	850	1,500	+36.6%
営業利益 (率)	803 (11.8%)	753 (11.4%)	1,556 (11.6%)	850 (12.1%)	1,400 (17.5%)	2,250 (15.0%)	+44.6%
経常利益 (率)	824 (12.1%)	778 (11.8%)	1,603 (12.0%)	870 (12.4%)	1,420 (17.8%)	2,290 (15.3%)	+42.9%
当期純利益 (率)	558 (8.2%)	607 (9.2%)	1,165 (8.7%)	600 (8.6%)	990 (12.4%)	1,590 (10.6%)	+36.5%

# 2024年6月期 業績予想進捗

売上高については、下期に自社製品や、FEP更改によるハードウェアの売上増加が見込まれる。加えて大型案件を中心としたシステム開発、セキュリティ等の売上増加により、通期計画達成を目指す。利益についても、売上増加とシステム開発の生産性向上等により通期計画達成を目指す

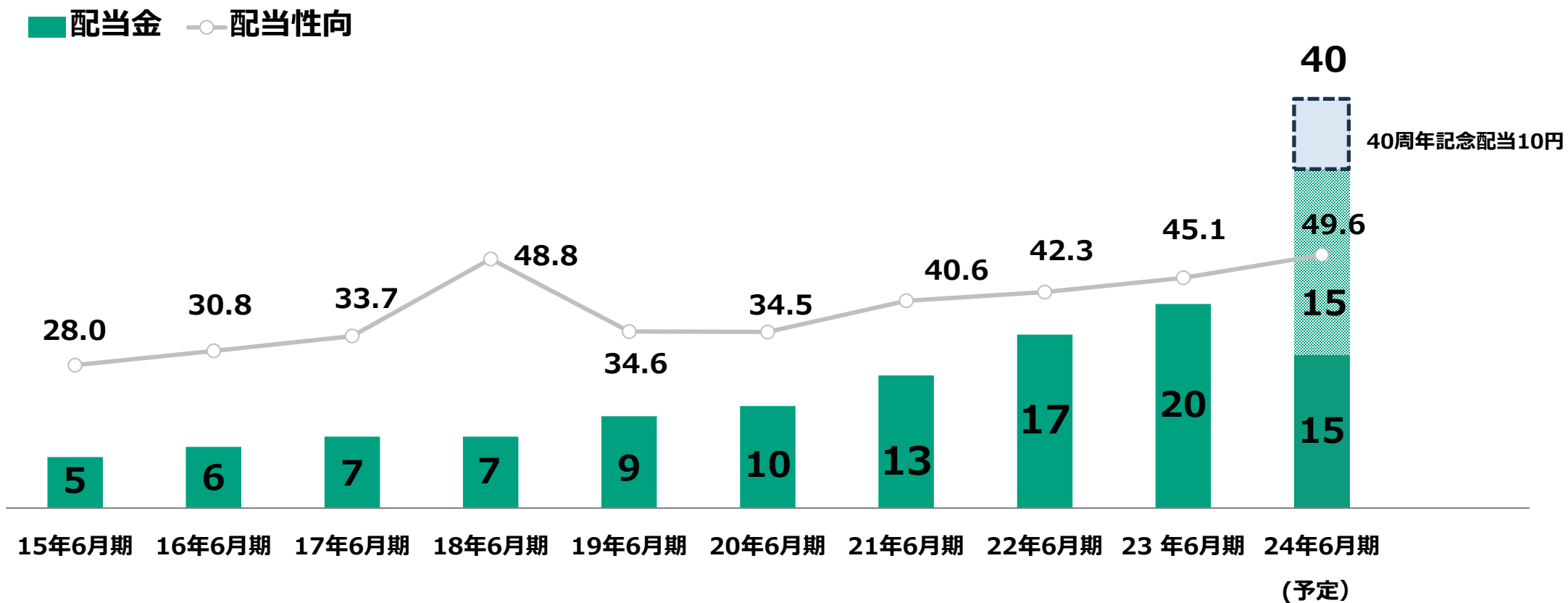
単位：百万円

	23年6月期実績			24年6月期予想			前同比 (下期)
	上期	下期	通期	上期実績 ※①	下期計画 (②-①)	通期計画 ※②	
売上高	6,789	6,585	13,374	6,946	8,054	15,000	+22.3%
決済・金融	5,393	5,015	10,408	5,007	5,993	11,000	+19.5%
システム開発	2,840	3,174	6,015	3,457	3,893	7,350	+22.7%
保守	816	822	1,638	798	992	1,790	+20.7%
自社製品・サービス	218	286	505	173	327	500	+14.3%
他社製品 (ハードウェア等)	1,517	731	2,249	578	782	1,360	+7.0%
クラウドサービス	881	985	1,867	1,180	1,320	2,500	+34.0%
セキュリティ	514	583	1,098	757	743	1,500	+27.4%
営業利益 (率)	803 (11.8%)	753 (11.4%)	1,556 (11.6%)	852 (12.3%)	1,398 (17.4%)	2,250 (15.0%)	+85.7%

# 株主還元

2024年6月期からは、配当性向を4割程度から5割程度へと方針変更。また株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、初めて中間配当を実施。

配当額については、直近の配当予想のとおり1株当たり15円



2023年6月期上期 業績と成果

2024年6月期 業績予想

2024年6月期 注力施策

参考資料



## 決済・金融

- ・ インフラ保守・運用の大型案件を受注
- ・ 主要顧客の大手カード会社2社において領域拡大を推進
- ・ DNPと新たな決済サービス創出を開始

## クラウドサービス

- ・ カード不正利用被害拡大に伴い、不正利用検知サービスの引き合い増加
- ・ JCBの不正取引情報WEB連携サービス「MATTE」の機能拡張を開発中
- ・ 全サービスのパブリッククラウド移行計画を見直し、順次移行開始

## セキュリティ

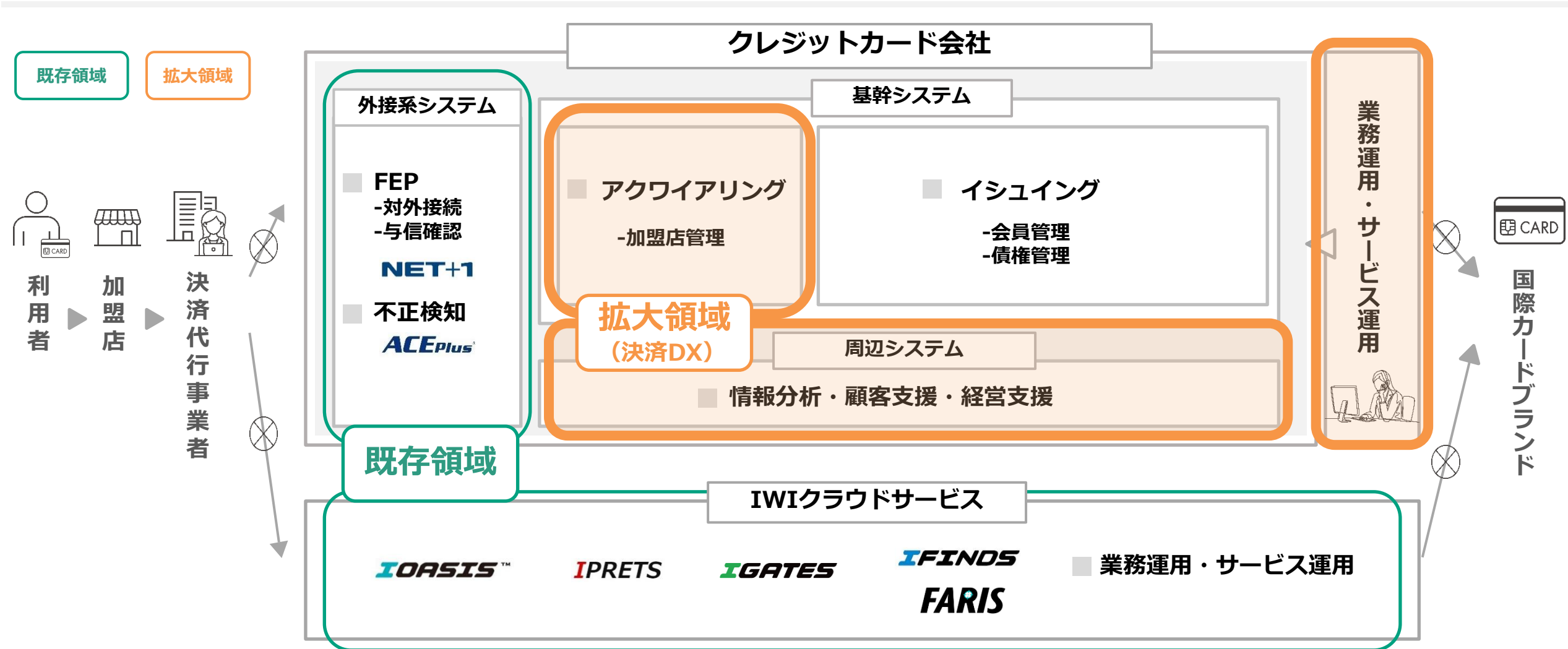
- ・ 既存製品の絞り込みにより販促活動を効率化  
(「CWAT」「Morphisec」「Cortex」「Recorded Future」)
- ・ DNPのCWATクラウド採用により、両社で販売強化
- ・ 「鍵管理システム(HSM)」「ID管理ソリューション」等の販売強化

## 新規事業

- ・ 放送業界向けソリューション「EoM」が、国内特許を取得（2022年に米国特許取得済）。海外展開では、欧州複数社にてPoC開始
- ・ メディアデータ分析ソリューション「AIMD」が複数の工場でPoC開始

# 参考) 当社の決済事業領域

既存領域で培った開発力や業務ノウハウをもとに、決済事業の事業領域を拡大



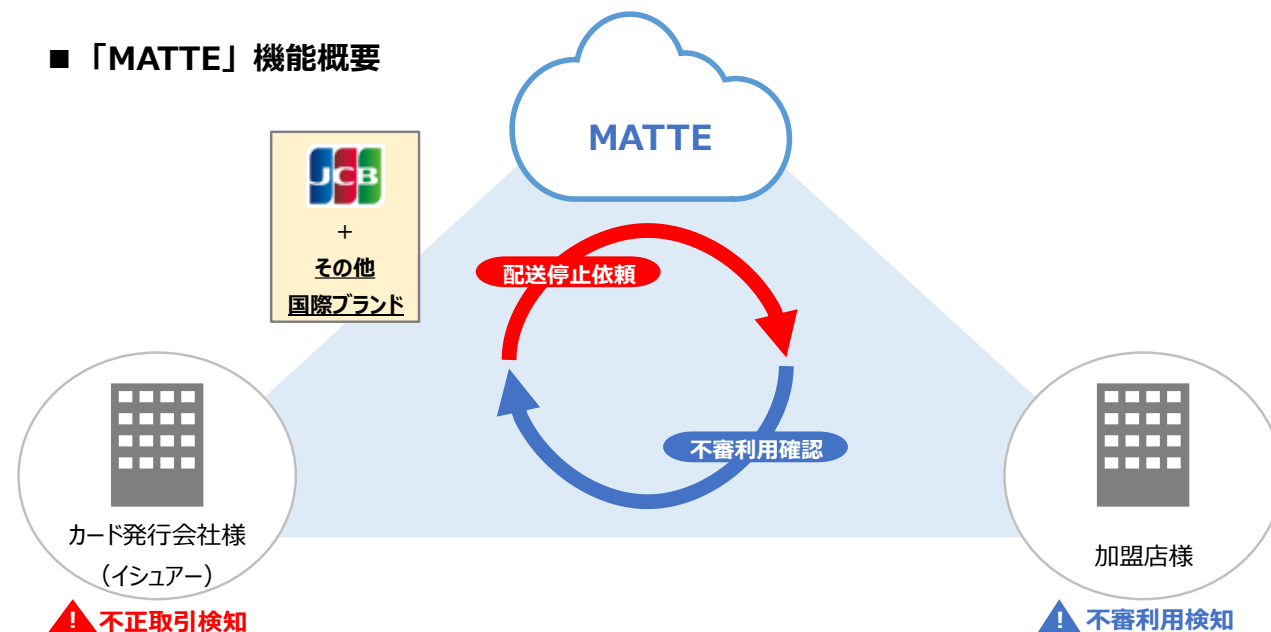
# カード不正利用検知サービス / 最先端の取組み

JCBと共同で推進する「セキュリティコンソーシアム」の一環として、JCBが展開する不正取引情報WEB連携サービス「MATTE」を機能拡張。JCBブランド以外の国際カードブランドの取引情報も連携可能にすることで、カード不正利用額の削減を目指す

「MATTE」とは、カード発行会社および加盟店にて不審なカード利用がされた際に、配送停止や不正利用確認のため、WEB上でリアルタイムに情報連携を行うサービス。

機能拡張により、JCBブランド以外の国際ブランドの取引に対しても対応が可能に。  
技術提供は当社が担当し、2024年秋頃の実用化を予定。

## ■ 「MATTE」機能概要



## ■ 「セキュリティコンソーシアム」について

2023年7月に業界全体の不正利用対策を推進する仕組みの構築に向け、当社とJCBは業務提携基本契約書を締結。両社既存のソリューション提供に留まらず、今までにない業界横断的なノウハウやデータの共有による不正検知の高度化、さらに、JCBブランドだけではなく、他の国際カードブランドへの仕組みの提供を目指す。

これまで注力していたサイバーセキュリティ領域の取扱製品を絞り込み、不正利用検知システムや認証システムなどの技術等を活かした分野への領域拡大を進め、規模拡大を目指す。

## 既存注力領域

### サイバーセキュリティ

- ・注力製品を絞りこみ、販売活動を効率化
- ・販売代理店との連携強化



エンドポイントセキュリティ「Cortex」「Morphisec」



脅威インテリジェンス  
「Recorded Future」

## 拡大領域

### 内部情報漏えい対策

- ・「CWAT」のDNPへの導入実績と共に、新機能開発を加速
- ・国内の拡販に加え、情報漏えい対策ニーズが高まっているアジア圏での展開を開始



内部情報漏えい対策ソリューション  
「CWAT/CWATクラウド」

### ID管理

- ・テレワーク等働き方の多様化により、ID管理のニーズが高まる
- ・システム導入支援（SI）体制を強化



IDアクセス管理ソリューション  
「Evidian」

### 鍵管理（HSM）

- ・車載ECUの鍵管理システムを開発し、DNPと協業販売
- ・自動車業界に加え、産業機器・医療機器など新たな市場開拓も目指す



汎用HSM  
(Hardware Security Module)

# サステナビリティ活動に向けた取組み

当社が特定した4つのマテリアリティの実現に向けて、多様な取組みを推進

当社マテリアリティ：

環境にやさしい  
持続可能な未来社会を創る

自分らしく輝ける  
未来社会を創る

イノベーションを通じ、  
安全で豊かな未来社会を創る

社会からの信頼を高める  
リスク管理とガバナンス

## 「JFAこころのプロジェクト」へ協賛

子どもの心身の健全な成長に寄与することを目的とした「JFAこころのプロジェクト」へ協賛。新旧プロスポーツ選手が精神・心理面での授業を行うことで、子どもの成長を応援。



イノベーションを通じ、  
安全で豊かな未来社会を創る

## 多様かつ自律的な働き方を支援する ワーケーション制度

仕事をメインとし、業務時間の前後や合間に休暇を楽しむ業務型のワーケーション制度「Stayworkプログラム」。今年度は、当社函館事業所と関連会社である株式会社ODNソリューション（沖縄）での勤務を実施。普段と異なる環境や自然との触れ合いによる社員の心の成長や、部門や組織の垣根を越えた交流による思考や知識の幅の拡大、リフレッシュによるエンゲージメント向上などを目指す。

自分らしく輝ける  
未来社会を創る

## 育児をする社員への支援

育児をする社員同士が情報交換を行う交流会やコミュニティ「パパママ社員Teams」を整備。部署を超えて、キャリアや私生活に関する相談の場を提供。同コミュニティからの発案で、子ども向け書籍の借り受けを行う「IWIこども図書館」を開始。



自分らしく輝ける  
未来社会を創る



インテリジエントウェイブは、  
**ビジネスリライアビリティを実現し**  
持続可能な社会に貢献します。

**2024年6月期上期 業績と成果**

**2024年6月期 業績予想**

**2024年6月期 注力施策**

**参考資料**

# 2024年6月期上期 製造原価明細

単位：百万円

	23年6月期				24年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
材 料 費	21	6	13	9	10	7		
労 務 費	731	737	696	721	745	744		
経 費	486	517	512	519	569	667		
外 注 加 工 費	892	911	929	1,047	1,085	1,124		
当期総製造費用	2,132	2,173	2,152	2,298	2,411	2,544		
期首仕掛品棚卸高	257	317	262	276	216	269		
期末仕掛品棚卸高	317	262	276	216	269	227		
他勘定振替高	337	382	380	378	434	532		
当期製品製造原価	1,734	1,846	1,758	1,979	1,923	2,054		



# 2024年6月期上期 販売費及び一般管理費

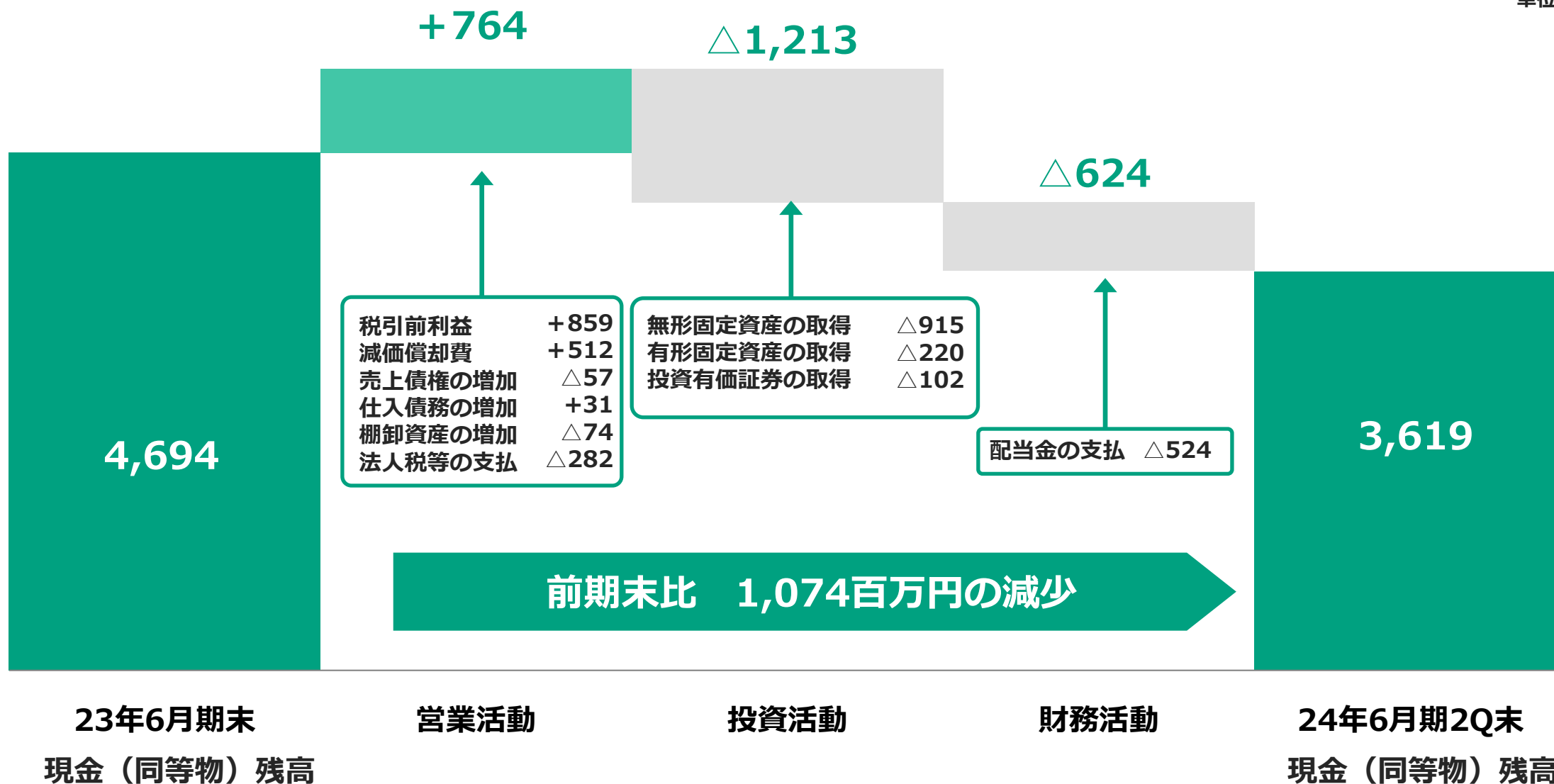
単位：百万円

	23年6月期				24年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	384	388	372	417	387	382		
採用・教育費	14	22	18	23	24	12		
設備・維持費等	120	118	125	133	127	108		
広告宣伝費	9	13	20	17	14	17		
その他	124	124	132	138	139	137		
合計	651	665	667	728	691	656		

	23年6月期上期	24年6月期上期	増減
販管費	1,317	1,348	+31
		人件費	△4
		採用・教育費	△1
		設備・維持費等	△3
		広告宣伝費	+8
		その他	+31 (コンサル費用等)

# 2024年6月期上期 キャッシュ・フロー

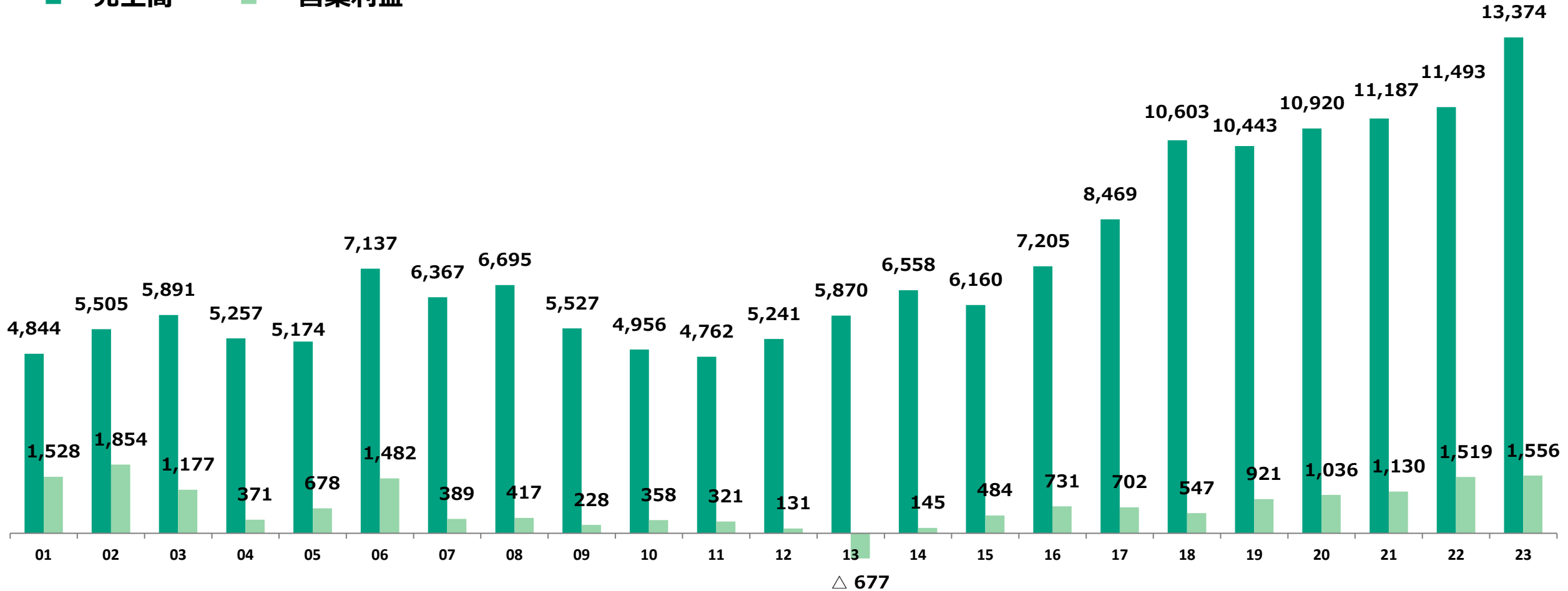
単位：百万円



# 長期業績推移

単位：百万円

■ …売上高    ■ …営業利益



\* 2015年6月期まで連結業績の数値を掲載

(2023年12月末現在)

設立 1984年12月27日  
所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー  
従業員数 475名  
親会社 大日本印刷株式会社 (50.73%\*)  
資本金 843,750千円  
発行済株式数 26,340,000株 株主数 9,808名

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	34.56%	個人・その他	98.07%
金融機関	5.73%	金融機関	0.13%
国内法人	51.10%	国内法人	0.54%
外国法人等	5.65%	外国法人等	0.99%
証券会社	2.73%	証券会社	0.25%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

\*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合

1984年  
創業

2001年  
JASDAQ上場

2010年  
DNPグループ入り

2019年  
東証一部上場

2022年  
プライム市場

※ 2022年4月市場区分の再編により、現在は「プライム市場」に上場

1989年～ 決済関連システム事業

1991年～ 金融・証券システム事業

2003年～ 情報セキュリティ事業


2019年～ 新領域拡大

## 【主な製品】

1989年  
決済ネットワーク接続・  
認証システム  
**NET+1**  
(ネットプラスワン)

1999年  
カード不正検知システム  
**ACEplus**  
(エースプラス)

2003年  
内部情報漏洩対策製品  
**CWAT**  
(シーワット)

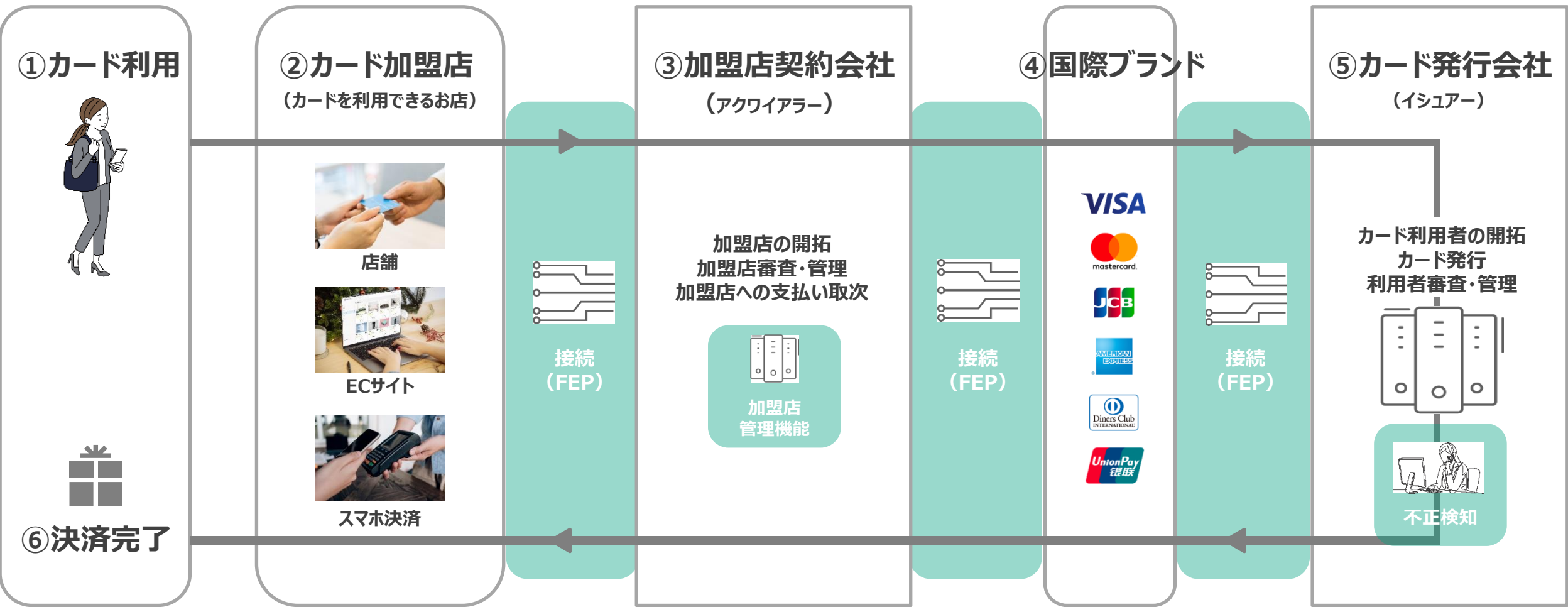
2019年  
放送業界向けIPフロー  
監視ソリューション  


1996年  
メッセージングミドルウェア  
**RIX AGENT**  
(リックスエージェント)

2016年～  
クラウドサービス開始  
■ **IOASIS** ■ **IPRETS**  
■ **IGATES** ■ **IFINDS**

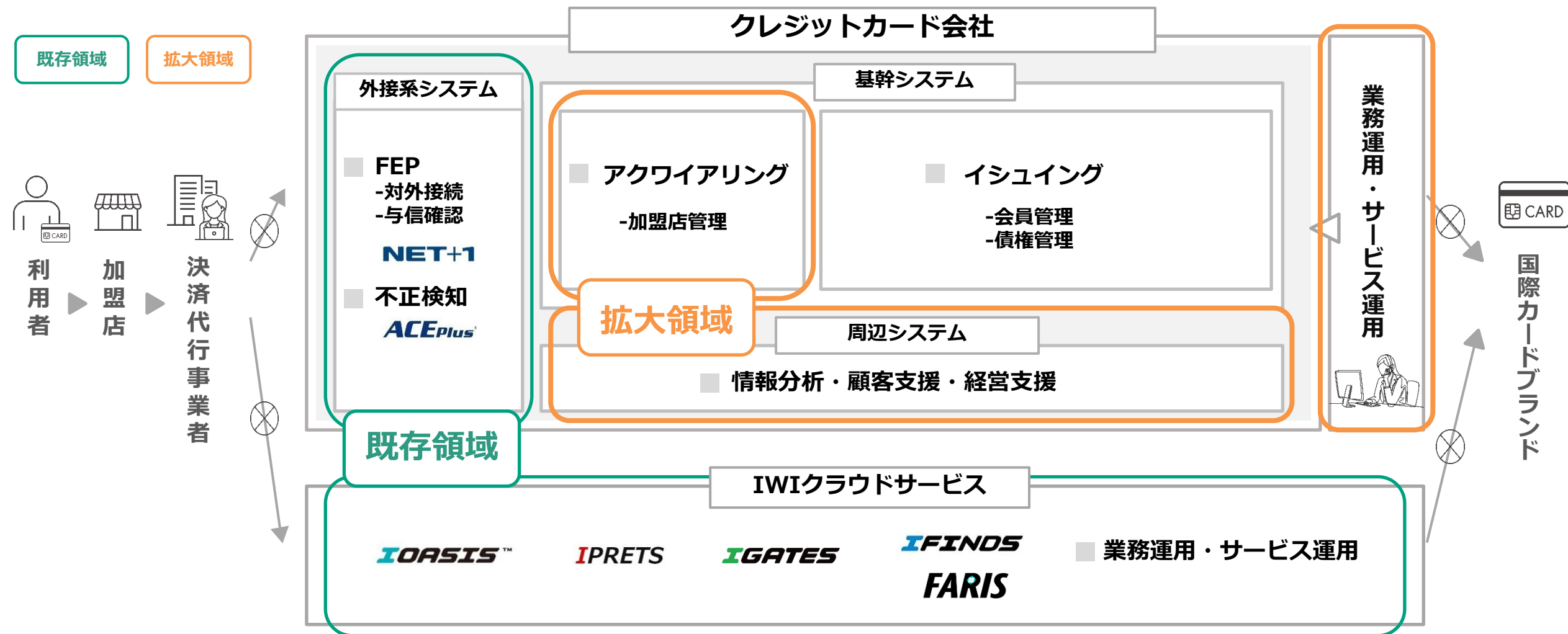
2020年  
エンドポイント  
セキュリティ対策製品  


# 参考) キャッシュレス決済の仕組み



※ : 一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています。  
※ : カード加盟店 (②) と加盟店契約会社 (③) の間に決済代行業者を介する場合があります。  
※ : カード発行会社 (⑤) が加盟店契約会社 (③) を兼ねる場合があります。

# 参考) 当社の決済事業領域



# 参考) 主なクラウドサービスの概要

**IOASIS™** (アイオアシス)

- ・加盟店契約（アクワイアリング）業務に必要なすべての機能を提供するASP型サービス
- ・24時間365日の運用を提供
- ・主な導入企業：地銀、ネット銀行、中小カード会社、大手事業会社（通信、小売など）

**IPRETS** (アイプレッツ)

- ・決済におけるポイント管理システム
- ・ポイント付与、利用、キャンペーン等に対応したASP型サービス

**IGATES** (アイゲイツ)

- ・国内外の各種決済ネットワークの24時間365日接続システムを提供
- ・国内で高いシェアをもつ当社製品「NET+1」の機能を継承したASP型サービス
- ・主な導入企業：大手カード会社、中小カード会社、フィンテックベンチャー（スマートバンクほか）

**IFINDS** (アイファインズ)

- ・クレジット決済不正検知システム
- ・国内で高いシェアをもつ当社製品「ACEPlus」の機能を継承したASP型サービス

**FARIS** (ファリス)

- ・ACEPlus、IFINDSに機能追加
- ・AIを駆使した高度なアルゴリズムを搭載

ルール判定

あらかじめ把握している不正パターンをルール登録同様の取引発生時に自動検知

AIスコアリング判定

過去情報を基に取引の不審度合いを自動でスコア化未知の不正手口を防止





**本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。**

**株式会社インテリジェント ウェーブ**

**経営管理本部 経営企画部**  
**E-mail: [ir\\_info@iwi.co.jp](mailto:ir_info@iwi.co.jp)**